



from NEW YORK



地下鉄の券売機

## 1ドル硬貨にみる 歴代大統領の肖像

米国では、1ドル札と並んで、1ドル硬貨が流通しているのをご存じでしょうか。

1ドル硬貨は、1794年以来断続的に鑄造されており、2000年にも先住民女性サカガウィアの肖像が入った硬貨が導入されていますが、利用はあまり広がっていませんでした。

こうした中、米国政府は、過去の大統領の肖像が刻まれた1ドル硬貨を、毎年4人分ずつ就任順に発行するプログラムをスタートさせました。2007年には初代ワシントン大統領から第4代マディソン大統領までが発行され、2008年には第5代モンロー大統領から第8代ヴァン・ビューレン大統領までが発行される予定です。2016年の第38代フォード大統領の硬貨まで、発行スケジュールが決まっています。米国50州の異なるデザインを施した25セント硬貨を毎年5州分ずつ10年かけて発行するプログラムの成功に続き、1ドル硬貨の需要喚起と米国の歴史に関する教育的効果が期待されています。

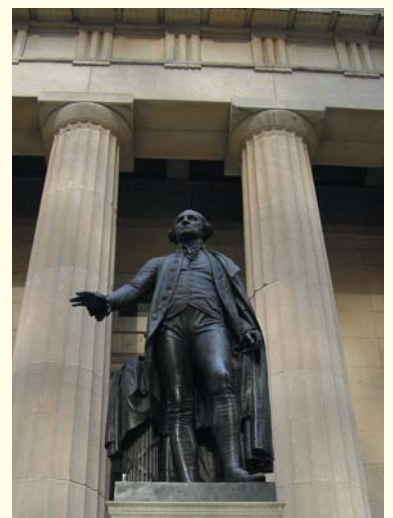
これらの1ドル硬貨は、支払いの手段となりますが、収集目的での退蔵が多いことも想定されており、デザインの美しさにも配慮されています。表面には大統領の名前と肖像、就任順序、在任期間が刻まれ、裏面には自由の女神像のデザインが、他の硬貨に刻印されている「Liberty（自由）」の文字の代わりに施されています。また、発行年や「In God We Trust（我ら神を信ず）」などの文字が硬貨の表面から縁に移されています。

大統領1ドル硬貨が登場しても、1ドル札、サカガウィア硬貨の発行・流通は続けられます。通常、買い物などの際に店頭で1ドル硬貨をやり取りすることは減多にないのですが、先日、地下鉄の自動券売機から、釣銭として第3代ジェファソン大統領の1ドル硬貨が出てきました。今後1ドル硬貨を手にする機会は徐々に増えていくのかもしれませんが。自動販売機の釣銭などで、どの図柄の硬貨が出てくるか、少し楽しみになりそうです。

(日本銀行ニューヨーク事務所)



「自由の女神」像



初代ワシントン大統領像(フェデラル・ホール・ナショナル・メモリアル前)